



富津中学校潮風学級14人の朗読劇「ことりをすきになった山」による第14回議場コンサートが、12月定例会の一般質問の前に開催されました。スクリーンに映し出された絵に合わせて、一人ひとり心のこもった語りかけるような朗読で幻想的な世界を表現する姿は、聴く人達の心に深い感動を与えてくれました。



「岩瀬海岸の冬の夕景」

写真提供 下飯野・茂木健一さん

富津絶景²⁰

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

12月定例会・委員会報告 ……	2・3P
個人質問 ……	4～9P
視察報告 ……	10～11P
トピックス・定例会日程 ……	12P

12月定例会

◆ 条例等

▼ 若年層の一般職員に限定して給料月額を引き上げ

千葉県人事委員会が平成25年4月分の職員（行政職）の給与と民間企業従業員（事務・技術関係職種）の給与を責任の度合、学歴、年齢が同等であると認められる者同士で、それぞれ対比させ、精密に比較したところ、民間給与が職員の給与を一人当たり平均355円上回っており、近年、初任給が民間との間で相当程度の差を生じていることが明らかとなったことから民間給与との較差を埋めるため、初任給を中心におおむね20歳代の若年層職員に限定して給料月額を引き上げます。

全員の賛成で可決しました。

平成25年第4回定例会は、11月29日から12月18日までの20日間で開催されました。議案22件、報告1件、請願1件、陳情1件、意見案1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

なお、詳細は次のとおりです。

級	号 級	引き上げ額
1級	1～68号級	100～2,000円
2級	1～44号級	100～2,000円
3級	1～16号級	100～1,700円
1～3級	上記以外の号級	0円
4～8級	全号級	0円

※対象となる職員数は、512人中173人です。

▼ 消費税（地方消費税含む）の税率の引き上げに伴い、関係条例を改正

消費税（地方消費税含む）の税率が平成26年4月1日からは8%に、平成27年10月1日からは10%に段階的に引き上げられます。この税率の引き上げ分を市の公共施設等の使用料等に負担転嫁するため、関係する11条例の一部を改正しました。

賛成多数で可決しました。

なお、一部改正した条例は次のとおりです。

① 富津市行政財産使用料条例

改正後の主な使用料

根拠条例	使用料等の名称	区 分 等	単 位	金 額 (円)			
				5%	8%	10%	
①	行政財産使用料	庁舎等	自動販売機の設置	1台/月	520	540	550
			物品の展示販売	3.3㎡/時間	310	320	330
④	金谷海浜公園使用料	プール	利用者	1人/日	300	300	310
			付添人	1人/日	300	300	310
⑦	市民ふれあい公園使用料 ※市内在住者及び在勤者で、夜間照明設備未使用の場合	陸上競技場（入場料等未徴収で、アマチュアスポーツに使用する場合）	一般	1使用1時間以内	1,570	1,620	1,650
			学生		730	750	770
			中学生以下		520	540	550
		野球場（入場料等未徴収の場合）	職業野球チーム	1使用1時間以内	2,100	2,160	2,200
			一般野球チーム		1,570	1,620	1,650
			学生野球チーム		730	750	770
			中学生以下の野球チーム		520	540	550
		庭球場（入場料等未徴収の場合）	クレーコート	1使用1時間以内	520	540	550
			全天候型人工芝コート		730	750	770
			全天候型アスファルト系及びウレタン系コート		520	540	550
⑧	総合社会体育館使用料 ※市内在住者及び在勤者で、午前9時から午後9時までの間	主体育館（入場料等未徴収で、アマチュアスポーツに使用する場合）	1時間	1,050	1,080	1,100	
		小体育館（入場料等未徴収で、アマチュアスポーツに使用する場合）	1時間	520	540	550	

- ② 富津市漁港管理条例
- ③ 富津市民の森の設置及び管理に関する条例
- ④ 富津市海浜公園の設置及び管理に関する条例
- ⑤ 富津市温泉供給事業条例
- ⑥ 富津市道路路占用料条例
- ⑦ 富津市都市公園条例
- ⑧ 富津市体育施設の設置及び管理に関する条例
- ⑨ 富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例
- ⑩ 富津理立記念館の設置及び管理に関する条例
- ⑪ 富津市水道事業給水条例

▼君津中央病院企業団負担金の負担割合を変更

本院と大佐和分院の運営費と施設整備費に対する関係市の負担金の負担割合（運営費3区分・施設整備費2区分）を関係市の利用者数実態等により見直した結果、平成25年度分の関係市の負担金から負担割合を一本化（運営費+施設整備費）し、均等割（負担金総額の20%）と利用者割（負担金総額の80%）の2区分により算出することになりました。

全員の賛成で可決しました。

なお、変更前後の関係市の負担金は次のとおりです。

平成25年度分の関係市の負担金（変更前後）

関係市名	変更前	変更後	増減
木更津市	522,492,230円	497,975,120円	△ 24,517,110円
君津市	363,033,976円	307,772,558円	△ 55,261,418円
富津市	216,195,936円	214,577,719円	△ 1,618,217円
袖ヶ浦市	198,277,858円	179,674,603円	△ 18,603,255円
合計	1,300,000,000円	1,200,000,000円	△100,000,000円

※関係市の変更後の負担金額が変更前の負担金額を上回らないようにするため、経過措置として平成25年度分に限り負担金総額を12億円（△1億円）とします。

▼指定管理者を指定

市では、平成18年4月から指定管理者制度を導入して、指定管理者による公の施設の管理運営を行っています。平成26年3月末をもって指定期間が終了する施設の指定管理者を引き続き指定します。

なお、今回対象となった施設は次のとおりです。

施設名	指定管理者となる団体名	指定期間
富津市民の森	千葉県森林組合	自 平成26年4月1日 至 平成31年3月31日
高岩山自然動物園	富津市観光協会天羽支部	自 平成26年4月1日 至 平成29年3月31日
市民ふれあい公園、青堀駅裏公園、大堀第1号公園、大堀第2号公園、大堀第3号公園、大堀第4号公園、大堀第5号公園、富津臨港公園、青木公園、若葉公園、青木第4号公園、青堀駅西口公園、上総湊駅前公園、湊親水公園、神田橋川面親水公園	公益財団法人富津市施設利用振興公社	自 平成26年4月1日 至 平成31年3月31日
富津市総合社会体育館、富津市富津運動広場、富津市新富運動広場、富津市浅間山運動公園	公益財団法人富津市施設利用振興公社	自 平成26年4月1日 至 平成31年3月31日

※指定管理者制度とは、多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設（地方自治体が住民福祉の増進のために設置した施設）の管理運営に民間事業者を含む法人やその他の団体のノウハウや活力を活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に導入された制度です。

◆補正予算

▼一般会計補正予算

歳出補正予算の主な内容は、障害者総合支援費、子ども医療対策費、生活保護費などの扶助費の増額、平成25年台風26号の被害に係る災害復旧費の追加などを計上するとともに、本年度の給与改定に伴う人件費を補正しました。

その結果、4億599万2千円が増額され、補正後の予算は160億1278万3千円となります。

全員の賛成で可決しました。

歳出予算の主な内容

- 障害者総合支援費
利用者への増加）
8301万7千円
- ・ 介護・訓練等給付事業（施設利用者への増加）
820万9千円
- ・ 自立支援医療事業（更生医療費新規対象者の増加）
2046万1千円
- 児童福祉総務費
・ 子ども医療対策費（子ども医療給付費給付額等の増加）
2046万1千円
- 扶助費
・ 生活保護扶助費（生活保護世帯の増加）
2776万7千円
- 道路橋梁災害復旧費
823万9千円
- 河川災害復旧費
6500万円

○ 農業用施設災害復旧費
2777万3千円

○ 林業施設災害復旧費
237万1千円

○ 農地災害復旧費
3929万5千円



台風により護岸が崩落した小久保川の現状

◆陳情

▼新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書」採択に関する陳情

（提出者：山野井憲司）

総務常任委員会では、「国の動向や軽減税率適用品目が不透明である現段階では反対である」との反対討論、「国の動向を見極める必要があるが、情報伝達手段としての新聞に軽減税率を適用することに賛成する」との賛成討論があり、賛成多数で採択されました。

本会議でも賛成多数で採択され、国等へ意見書を提出しました。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

東京オリンピックピック開催決定を受けて

問 アルゼンチンの首都ブエノスアイレスからの知らせに日本中が熱狂したが、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う、首都圏の交流人口の増加と経済効果は絶大で、富津市にとってもその魅力を世界に発信する絶好のチャンスである。

この世界最高峰のスポーツの祭典が、富津市にどのような影響を与えると思うか。

市長 両大会は、まさしく世界最高峰のスポーツの祭典で、その祭典が本市から遠くない東京を会場に開催されることで、出場選手や世界各国から応援に来日するお客様、また、全国各地から訪れる観光客が、大会前や大会以降にも多数来遊することが見込まれる。本市には多くの観光資源やスポーツのできる環境があることから、今後の一層の発展につながるよう取り組んでいきたいと考えている。

問 本市も大会に積極的に絡んでいくべきだと思うが、千葉県は大会に向けて、どういう役割を果たそうとしているか。

経環部長 11月21日に県幹部職員で構成する東京オリンピック・パラリンピック戦略推進本部を立ち



平野 英男
議員

上げ、大会開催に協力するとしても、その開催効果を県内の持続的発展に結びつけるという考えでいる。

問 県も前向きに考えている大会に、本市が名乗りを挙げてトップアスリートの合宿誘致をすれば、その後のスポーツ合宿の定着化と観光の増進につながると思うがいかがか。

経環部長 大会の主要選手が、本市で合宿をしていたら施設を利用すれば、練習風景を見学するお客様も多数訪れることが考えられる。

また、大会終了後も本市全体の付加価値が上がり、国内競技者の利用も望め、スポーツ合宿の定着化



多くの長距離ランナーが合宿に訪れる県立富津公園

と観光客の増加も図れると考える。
問 総論は賛成であると思うが、逆に予測される障害や問題点はあるか。

経環部長 練習を行う施設や宿泊施設等の受け入れ体制の課題があると考えるが、現段階では開催内容についての詳細が明らかでないので、千葉県や関係各機関からの情報収集に努めたい。

問 県では、現在この大会に向けて、具体的にどのような取り組みを考えているのか、市は確認しているか。

経環部長 県の戦略推進本部において、人と物のスムーズな流れの確保や、魅力ある観光地づくり、キャンプ招致とスポーツ振興による地域づくり、戦略的な千葉の魅力発信の検討を行い、2014年前半に取り組み方針を作成する。また、2014年度中に官民連携組織の立ち上げを行い、県・市町村・民間等が一体となった、「オール千葉体制」で推進を目指すと考えている。

問 森田知事は県議会で「必要なインフラ整備を促進するとともに市町村ともタイアップする」と言っている。

トップアスリートの合宿誘致に名乗りを挙げれば本市も身を切る部分が生ずるが、県にインフラ整備



さらなるスポーツイベントの開催が期待される、市民ふれあい公園陸上競技場

を促すことも可能である。
既に選手の合宿誘致に向けて、公に意思表示している自治体もあるので、東京都やJOCの意向が決まった段階で、誘致に向け即プレゼンできないといけない。
また、東京都やJOCの動きとは関係なく、具体的な国・競技・選手があればアプローチをすべきなので、早急に研究チームを立ち上げるべきだと思いがいかかか。
経環部長 県の戦略推進本部や関係各機関の動向を注視し、本市として、将来の発展の方向性を含めて、どうすれば選手の合宿や観光客誘致につながるか検討していきたい。
また、本市での検討はもとより、君津地域等広域で連携した誘致についても検討していく必要があると考えている。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
 企財部長（企画財政部長） 健福部長（健康福祉部長）
 経環部長（経済環境部長）

防災の進捗／予防と健康 資質向上への取り組み



勇 間久 議員

問 防災への取り組みとその進捗状況は。

市長 市における防災対策の基本となる地域防災計画は、平成21年3月に修正し、現在に至る。先の大震災を教訓に改正された国の防災基本計画や県の地域防災計画の修正内容を踏まえ、計画案を作成し、来年3月までに配布できるよう進めている。また、地域防災力向上を図る必要があることから、自主防災組織の結成促進のため、出前講座などを活用。さらに津波避難施設の建設に向け、調査検討を始めており、計画的に進めていきたい。

問 本年の富津市総合防災訓練は富津小学校区で実施されたが、例年と違う点は。

総務部長 今回は、対象地区の多くが津波浸水地域に想定されており、自宅から指定避難場所である小学校、市役所駐車場、新日鐵住金富津寮を指し避難していた。

問 防災行政無線は情報伝達に有効だが、親局と子局の双方向通信ができるデジタル化への考えは。

総務部長 災害時に電話設備等の被害により情報が途絶する地域、

大規模避難所となる施設付近にある子局について、デジタル化のメリットを生かせるか調査、検討し、早期に整備できるよう努めたい。

問 防災行政無線で放送しても聞き取れない状況もある。ほかの手立てはあるか。

総務部長 住民への伝達は、防災行政無線、安全安心メール、かずさF M、戸別受信機を活用している。その他の伝達方法としては、防災ラジオが考えられるが、さまざまな問題があるので引き続き導入に向け検討していきたい。

問 健康寿命を延ばす取り組みとして、予防と健康の施策は。

市長 病気の早期発見、早期治療のため、各種がん検診、若年健康



生涯現役、持っている知識を活かそう！

診査や特定健康診査及び短期人間ドックの費用助成を実施し、個別支援に取り組むとともに、高齢者肺炎球菌予防接種の費用を助成。介護予防のための運動教室や認知症の早期発見の出前講座などの地域支援事業を積極的に展開している。

問 特定健康診査の対前年度での受診状況は。

健福部長 昨年度までの自己負担額1100円を今年度500円に減額。集団健診のみの比較になるが、受診者数は3088人で昨年度より34人の増、若年健康診査でも662人で40人増加した。

問 金額を下げ、健診期間も延ばしたにも関わらず、受診しない人がいる。未受診者への働きかけは。

健福部長 特定健康診査の受診率向上のため、土日の集団健診を5日間設け、さらに集団健診と未受診者のための追加健診の日数も延長するなど、受診の機会を増やしている。若い年齢層の受診率が低いため、夜間や休日に家庭訪問し、受診の必要性を説明。

問 費用をワンコインまで下げた。さらなる受診率向上のため、心電図検査を含めることはできないか。

健福部長 君津木更津医師会と契約しており、4市の合意が必要だ

が、健診項目をより充実させ、循環器疾病の早期発見のために、導入について今後4市で検討したい。

問 職員の資質向上に向けての取り組みは。

市長 「富津市職員人材育成基本方針」に基づき、職場研修、職場外研修、自主研修のそれぞれの特徴を生かし、一人ひとりの持てる能力を最大限に伸ばすことに努めている。本年度から特別職と若い職員との対話「ふれあいミーティング」を行っている。

問 自発的に部内研修で教養を高めている部局は。

総務部長 研修希望を募り実施。消防長 現場活動に生かせる技術習得のため、各種講習会に参加し、他の職員に伝承し、現場活動等で活用している。



「観光・人材・活力」資源の眠る富津市

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

平成26年度当初予算編成の方針



岩本 謙 議員

問 一般会計収支見込（平成26年度から28年度）の状況から、どのように考えた予算編成になるのか。
市長 平成26年度予算編成については、国の経済対策により景気は回復基調にあるとされているが、実体経済への反映では大きく改善していない。依然として不透明な状況が今後も続くものと見込まれることから、予算への影響について、慎重な精査が必要になると考えている。したがって、予算編成方針については、景気回復が不確実な状況かつ財政調整基金の状況等からも、ここ数年に比べ一段と厳しい状況になることが予想されることから、前年度以上に健全財政を見据えた中で、第3次基本計画を踏まえた予算編成とすることとした。

問 今後の財政運営と経常収支比率の改善策は。
市長 今後の財政運営と経常収支比率の改善策については、市税徴収の強化、特定目的基金の活用、財産処分、さらなる行財政改革などによる歳出経費の見直しを中心として、財源の確保を図る。また、事業選択においても、市民の安全と安心を最優先に考えた選択と集

中による財政運営を図り、経常的経費の中においても徹底的な見直しを図り、経常収支比率の改善を図っていききたい。

問 市税徴収の状況を見たときに、徴収率があまり変化していない状況をどう考えるのか。
市民部長 市税については、全体的には収入が減少している。その原因は、埋立地内の企業の償却資産等の減少があるかと思う。徴収については、現年度課税分に滞納を発生させないことが重要で、早期に納税課職員による接触、滞納状況を見定めた中での電話での催告、納税相談と合わせ、少額であっても滞納処分の早期着手、整理を行い自主納付意識の向上を図つ

ている。また、滞納繰越分については、積極的な財産調査を実施するとともに、滞納処分に重点を置いた滞納整理を実施している。
問 経常経費に占める物件費の比率が過去5年間を見ると下がっているが、この理由は。
企財部長 物件費を中心とする経常的経費については、今年度予算において5%の配当削減を実施している。来年度予算要求も、その配当枠以内で行うよう令達している。この配当枠以内は消費税の増税も含めたもので、実質的に8%減を目標としている。
問 本庁舎の光熱水費について過去5年間の平均は、年間3134万円かかっているが、この数値に対する感想は。
総務部長 確かに3100万円ほど光熱水費はかかっている。この中で電気料がかなりのウエートを占めている。本庁舎だけで120万KWほどかかるので、職員に対して昼間の消灯、あるいは節水を常日頃からやらせているが、もうやるだけやってきたという感がある。これ以上の節電という、夜残業をしない、消灯して早めに帰すということも考えざるを得ないと思う。



新年度予算は、第3次基本計画を踏まえた予算編成となります。

問 学校現場に1人1台のコンピューターの予算化がなされているが、配置の時期とハード面のセキュリティは。
教育長 今年度は、不足分の229台を5年間の長期契約リースにより年度内に配備し、3月からの運用を予定している。
問 セキュリティー面の内容は。
教育部長 老朽化した各学校のサーバーを廃止し、データセンター設備を保守会社に設置することで、既設のパソコンを含めた、統一した保守管理が可能となり、今まで各学校に委ねられていた管理運営の負担を大幅に軽減できるとともに、セキュリティ面でも保守会社の管理によるウイルス対策が図られる。また、運用面でもセキュリティを重視した記憶媒体の活用やサーバーサーバーへのアクセス利用も試行する予定。



本年度中に学校現場へのパソコン配備（1人1台）が完了します。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
 企財部長（企画財政部長） 健福部長（健康福祉部長）
 経環部長（経済環境部長）

国保税の引き下げ、田倉 残土埋め立て



松原 和江 議員

問 高い国保税を市民に負担させていることへの市長の認識は。
市長 年々医療費が増加している。保険給付費に見合った保険税額であると認識している。

問 2012年度の国保基金保有額は、5億5千万円。県内では松戸市、船橋市に続いて3番目に豊か。来年度は引き下げを実行すべきたが、見解は。
市長 基金の残高は、平成25年度予算の財源分を差し引くと3億8千万円余。緊急時の備えなどの貴重な財源。現時点での引き下げは考えていない。

問 富津市の保険税は、県内で何番目か。
健福部長 公表されている最新年度の平成23年度では、一人当たりの国保税額は11万6030円、県内で1番高い。

問 給与収入300万円、課税所得159万円、40代夫婦で子ども2人、固定資産税5万円の場合、君津地域4市の国保税の比較は。
健福部長 下表のとおり。

問 保険税を滞納したため正規の有効期間1年間の保険証のない世帯は。
健福部長 本年11月1日現在、3カ

月の短期保険証交付世帯が407世帯、1カ月が302世帯、資格証明書が241世帯、合計950世帯。
問 悪意があつて滞納しているのではない。資格証明書や1カ月の短期保険証の発行は止めてほしいが。
健福部長 資格証明書の交付は、納付相談や納付状況により、随時対応している。短期保険証は、納付状況を考慮した中で今後検討していきたい。

問 県内で、一般会計から国保会計に法定外の繰り入れを実施している市町村はいくつか。
健福部長 平成23年度では、県内54市町村中、36市町村。

問 36市町村の一人当たりの平均

国民健康保険税 4市比較表

自治体名	国民健康保険税
富津市	400,620円
木更津市	333,490円
君津市	334,390円
袖ヶ浦市	312,120円

給与収入300万円、課税所得159万円、40代夫婦で子ども2人、固定資産税5万円の場合で算出

繰入額は。

健福部長 1万827円。

問 富津市の財政力指数は、県内54市町村中、何番目か。
企財部長 上から8番目。

問 富津市は財政力もある。法定外繰り入れをして、来年度は国保税の引き下げを行うのか。
市長 最初に答えたとおり、今の状態が妥当であると考えている。

問 保健師の役割の重要性は。
健福部長 特定健康診査、特定保健指導業務や健康増進事業等において、保健指導を実施していくこと。生活習慣病を予防するために、自分の健診結果を理解し、改善点に気づいて生活習慣を見直す必要がある。保健指導は、科学的根拠に基づいて、データが示す意味を理解するよう支援する重要な役割を担っている。

問 田倉地先の埋め立て計画は。
市長 面積6万7236・16㎡、土砂等の量83万8724・11m³、事業期間3年間を予定。平成25年6月7日に特定事業事前計画書が提出され、現在、事前協議中。

問 住民の同意は。
経環部長 条例では、特定事業区域から300m以内に居住する住民がいた場合、8割以上の世帯の承諾が必要。今回の場合は、300m以内に居住する住民がいない

ため、田倉区、高溝区、宇藤原区の3区の同意が得られればと考えている。

問 どこから持ち込まれるのか。
経環部長 東京メトロ東西線南砂町駅舎改良工事、中央環状品川線工事など東京都から持ち込まれる。

問 搬入ルートは。
経環部長 木更津港や袖ヶ浦港から君津市内を通って房総スカイライン手前から国道465号を経由し、特定事業場に搬入。

問 東京都の工事現場のものが確実に田倉に持ち込まれるとは限らない。どうやって確認するのか。
経環部長 発生場所の責任者が発行した土砂等発生元証明書、採取場所の平面図、現場写真、地質分析結果証明書などを添付することになっている。これにより土砂の安全性を確認する。



特定事業事前計画書が提出されている田倉地先の埋め立て計画地

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

台風26号の被害状況、がん対策推進条例の制定



藤川 正美 議員

問 10月16日明け方に伊豆諸島北部を通過、午前中に房総半島東部をかすめた台風26号による富津市の被害状況と被害額は。

市長 今回の台風は、富津市で連続雨量441.8mm、時間最大雨量64.6mm、最大風速20.2mを記録。市として避難所10カ所を開設し、65世帯138人が避難。家屋被害は床上浸水20件、床下浸水43件、損壊34件、宅地への土砂流入等17件。市道等の被害は135カ所で被害総額は約8450万円、河川・水路12カ所で約6500万円、農地・農業関連施設237カ所です。約6600万円、林野災害は53カ所で約230万円、ノリ養殖の水産業関連施設で2億1300万円。



台風26号で、のり面が崩れた小久保地区の市道。市内の被害は甚大だった。

問 富津中学校周辺の被害状況は。

建設部長 家屋の浸水被害で、床上浸水1件、床下浸水1件。

問 今後の対策は。

建設部長 現在の富津中学校前の下水道雨水管では対応できないので、調整池の整備の必要性がある。今後、山王土地区画整理組合と協議し、整備していきたい。

問 日本人のがん罹患率のデータでは、2人に1人が、がんになり、そのうち3人に1人が亡くなっている。富津市のがん対策の現状は。

市長 千葉県がん登録事業報告の富津市のがん登録者数は、平成18年354人、平成19年435人、平成20年471人と増加傾向にある。がんの予防及び早期発見のため、がんに対する知識の普及・啓発に努めるとともに、がん検診の受診率向上に取り組んでいる。

問 3年前の平成22年12月定例議会にて、故・長谷川剛議員が「がん対策の評価と今後のがん対策」と題して質問している。その質問内容を活用して伺いたい。最初に、富津市の平均寿命の変化は。

健福部長 平成22年度、男性で79歳、女性で86歳。平成17年と比較すると、男性で14歳、女性で06歳

延びている。

問 しかし、全国・千葉県と比較すると、わずかに富津市は低い。その原因を故・長谷川議員は検診率の低さが原因と推測していた。富津市の胃がん・子宮がん・乳がん・肺がん・大腸がんの検診率は。

健福部長 平成24年度の検診率は胃がん43%、子宮がん10%、乳がん11.8%、肺がん22.8%、大腸がん7.4%。平成22年度と比較すると、乳がん検診を除き、県平均の受診率を下回っている。

問 短期人間ドックの現状と、その広報は。

健福部長 短期人間ドックには、助成制度（かかった費用の7割を助成・上限額7万円）があり、市内外の16医療機関と契約。受診の啓発活動は、市ホームページ、広報ふつつ、国保だより年に1回掲



行政視察時の故・長谷川剛議員。在職21回目の最後の議会質問が、「がん対策」だった。

問 この子宮頸がん国内では年間約1万人が発症し、3千人が亡くなっている。ワクチンを使えば、50%~70%を予防できるという期待がある。最後になるが、富津市議会が最初に「がん対策推進条例」を提案したのは、故・長谷川剛議員。胃がんになった自分と同じ轍を市民に踏ませたくないという思いからか。この条例制定についての市長の考えを聞きたい。

市長 市民の意識高揚を熟成させて、時期を見ることが必要。

載。「福祉・国保・介護ガイドブック」にも掲載。

問 「がんフォーラム」開催の考えはあるか。

健福部長 がんに関する講演会等を通じて、理解や意識を高めることは重要だと認識している。今後調査、検討していきたい。

問 胃がんになる大きな原因でもあるピロリ菌除菌の現状は。

健福部長 平成25年2月からピロリ菌の感染による慢性胃炎等の治療に健康保険が適用されるようになった。ただし、検査費用についての助成制度はない。

問 子宮頸がんワクチンの現状は。

健福部長 本年6月に厚生労働省から県を通じて勧告があり、本市でも予防接種の勧奨は積極的に進めていない。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

企財部長（企画財政部長） 健福部長（健康福祉部長）
 経環部長（経済環境部長）

フィルムコミッション・地域活性化、東京五輪開催決定による観光振興



平野 政博 議員

問 地方での映画撮影などで地域活性を図るフィルムコミッションだが、取り組み状況と見解は。

市長 千葉県フィルムコミッションのデータベースに登録し、情報提供を行い施設管理者との調整、ロケ地への案内や同行等をしている。

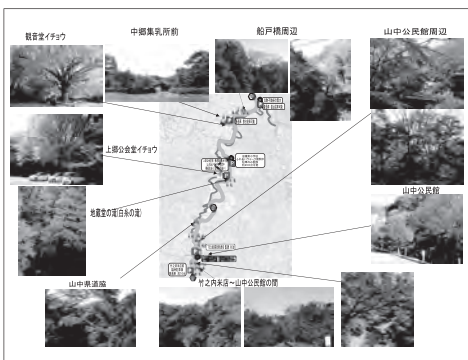
問 千葉県フィルムコミッションのホームページ等では積極的なPRがされていないが、今後の展望は。

企財部長 近年、著作権等の問題から制作者の了解を得ることが難しいが、フィルムコミッションは経済や観光に有効な策であるので、今後、映像制作者の了解を得ながら市の状況を紹介していきたい。

問 先日、豊川市で開催されたB1ーグランプリ、来場者数も58万人と、まち起こしイベントの最高峰として認知されている。本大会出場には各種団体との連携が重要であるが、本市における各種団体との連携体制は。

市長 現在、参加に向けての活動については聞いていない。今後活発になったときには、市としても協力したい。

問 冬のシーズンに入り市内観光は厳しくなるが、推奨地域は。



「もみじロード」には、各所に見どころがあります。

市長 マザー牧場のイルミネーションやアイススケート、金谷の恋人の聖地モニュメントなどのほか、「市民が誇れる市の顔づくり事業」で行われるようになった関豊の神徳イルミネーションや佐貫の含富里の「竹燈籠の夕べ」も推奨地であり、今後もホームページ等を活用しPRしていきたい。

問 もみじロードの入り込み数と取り組みは。

市長 3万人のお客様にお越しいただいた。関東で一番遅い紅葉が楽しめる地域としてPRしている。

問 もみじロードの出入口の2カ所に大きな案内看板はあるが、要所には見当たらず、散策できないかった。市として各所案内板の設置

を把握しているのか。

経環部長 もみじロード事業は、地元の方々が地域資源を活用し、活性化を図るための活動であり、地元の方々が工夫を凝らして作成設置していただいていると認識しているが、今後協議していきたい。

問 当市をスタート・ゴール地点に置いた「ツール・ド・ちば」への反響と今後の新たな関連したイベントの展開予想は。



「ツール・ド・ちば参加のツアーリストの皆さん」こうした新規スポーツイベントの推奨が地域活性化には不可欠

市長 延べ1869人の参加者があり、本市の海岸線や山間地の景観をサイクリングコースとして満喫していただくと感じた。また、本市の特色を生かせるようなイベントに取り込み観光に生かしたい。

問 7年後に東京オリンピックが開催されるが、あしたから、今後7年間の諸外国への観光アプローチの見解は。

市長 東京オリンピック・パラリンピックの開催は、本市観光にとつてまさに好機であると考えている。外国人観光客が旅行目的として好むと思われる鋸山の石切場跡やマザー牧場、東京湾観音、潮干狩り、地引網、日本酒やしょうゆの醸造等施設見学や体験型観光等の特徴のある観光資源を積極的にPRし、受け入れ体制も研究したい。

問 他県、他市では開催決定から早期に行動をしているが、他県の行動を見てどのように感じたか。

経環部長 市としての特徴や優位性を早期にアピールしていくことは必要。公共では千葉県、公共団体、上総圏域との連携協力も必要。

問 現在の問題点は。

経環部長 宿泊施設、英語等の看板標識が考えられる。

問 富津市のホームページの他国言語対応化、パンフレットの他国への配布、市長をトップに据えた組織の設立と世界中への情報発信等を進め富津市の観光を諸外国に発信等を試みては。

経環部長 市としてできるものは進めて行きたい。

企財部長 海外に発信するのはホームページが一番有効であると捉えている。今後は県あるいは君津地域の動向を考慮しながらホームページの充実を図っていく。

総務常任委員会行政視察報告

平成25年10月23日（水）～24日（木）、総務常任委員会は、長野県東御市における「空き家バンクの取り組み」と、須坂市における「地域情報の発信」について視察を行いました。

務朗夫 雄彦 久
敏 幹 明 剛
辺 本 原 木 野 崎
岩 福 鈴 平 岩
委員長 委員 員 員
委員 委員 委員 委員
副 副 副 副



東御市役所庁舎前

東御市では市内の空き家についての情報を所有者から提供してもらい、それをインターネットや印刷物などの手段で広く全国の興味のある人たちに紹介しています。

東御市の取り組みの特徴は供給側の建物所有者の情報把握だけでなく、需要者側、つまり空き家を買ったり借りたりしようと興味を持つ人たちへの積極的なアプローチにより、具体的なその後の生活設計や収入の確保などのアドバイスまで行っていることでした。建設部所管の空き家対策だけでなく、農政や子育て支援なども網羅した総合的な事業とすることで、有機的に効率的な行政運営に取り組んでいる印象を受けました。本市にも部署横断的総合的の事業への取り組みが必要だと感じた視察でした。須坂市ではメールマガジンやプ

ログ、ツイッターなどのインターネット技術を活用した情報発信により、広報の充実を図っています。情報配信プラットフォームを立ち上げるにより、さまざまな媒体を結び付けて情報発信機能を高めることに実績を上げています。

本市でもホームページや広報ふつつなどでの情報発信に努めていますが、よりタイムリーに、そして市民に有用な情報を提供するためには、インターネットのより効果的な活用は必要不可欠です。特にさまざまな団体や組織での情報共有を可能にする共通のプラットフォームの立ち上げは、あまりコストもかからず有効な手段だとの感想を持ちました。



須坂市における視察の様子

教育福祉常任委員会行政視察報告

平成25年10月24日（木）～25日（金）、教育福祉常任委員会は、神奈川県大和市における「少子化対策の取り組み」と、静岡県藤枝市における「青少年の健全育成の取り組み」について視察を行いました。

三 博 勝 郎 美 江
政 良 一 正 和
十 川 野 梨 井 庄
平 野 高 永 藤 川 原
松 原 松
委員長 委員 員 員
委員 委員 委員 委員
副 副 副 副



大和市における視察の様子

1日目の神奈川県大和市では、妊娠中や出生後の子育て支援と同様に子どもを授かりたいと願う夫婦に対する支援策は、重要であると捉え、不妊症や不育症の診断を受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成することで経済的負担を軽減するとともに、治療を受けやすい環境を考えました。平成22年10月から一般不妊治療費助成を、翌年10月から不育症治療費助成を、翌々年10月から特定不妊治療費助成を、それぞれ県内初の市独自の施策として開始しました。また、24年度末までの間で不妊治療費助成者のうち出生した子どもの人数は92人（うち特定5人）にまで及んでいます。

2日目の静岡県藤枝市では、公益財団法人日本サッカー協会主導による「こころのプロジェクト『夢の教室』」を活用して子どもたちのこころを育む取り組みを行っています。『夢の教室』とは、元サッカー日本代表選手などをはじめさまざまな種目のアスリートが特別講師「夢先生」として実体験等に基づき授業を行い、自立心と社会性に富んだ、元気で魅力的な子どもを育てていくことを目的とするものです。この教室を平成21年から継続的に開催し、25年3月末までの間に市内17小学校（158クラス）で実施されています。

両市ともに近年の人口は増加傾向にあり、両市の充実した取り組み内容が「当市の抱える人口減少問題解決のヒントになるのでは」と感じた視察となりました。



藤枝市における視察の様子

建設経済常任委員会行政視察報告

平成25年10月23日（水）～24日（木）、建設経済常任委員会は、長野県千曲市における「信州千曲ブランド」と、長野市における「農業法人化支援事業」について視察を行いました。

勇 英 謙 良 新 治 一 郎
 間 久 野 橋 野 林 井
 佐 平 高 平 小 石
 長 員 員 員 員
 員 員 員 員
 委 副 委 委 委 委
 員 員 員 員 員



千曲市役所庁舎前

千曲市は平成15年市制施行の新しい自治体のため、市のPR戦略を考える必要性がありました。

ブランド戦略として農商工連携により、市内食品製造業の産品を広く知っていただくとともに、販路拡大を図り、千曲市の名前を全国発信することを目指しました。

当初80品目だった認定ブランド品も視察時で120品目と増えていましたが、課題はさらなる周知とブランド化の浸透で、最終的には行政の補助なく自立した活動ができるなければならないと考えています。

本市では富津市ブランド化戦略会議で検討した経緯があり、これは食品に限定せず幅広くブランド化しようとするものであるが、より一層の民間企業や地域ボランティアとのコンセンサスが求められ

るでしょう。

次に長野市では、農業経営基盤の弱体化を防ぐため、平成19年に長野市農業公社を設立し、農作業支援、多様な担い手の育成、農地流動化の促進、マーケティングの拡大、農業法人化推進などの事業展開で、農業の再生を図っています。

長野市農業公社では農業法人化の推進を図るため、視察時で水稻事業4団体への出資補助を行っていました。

農業法人が新規就農の受け皿となることから、農業経験のない者も就職感覚で就業できることは大きな魅力でありました。



長野市における視察の様子

企業誘致対策特別委員会現地視察報告

平成25年12月18日（水）、企業誘致対策特別委員会は、正副議長・委員外議員とともに、市内の「浅間山砂利採取跡地」における太陽光発電事業の進捗状況について視察を行いました。

治 郎 一 夫 久 務 英 明 彦 一 幹 正 和 政
 謙 志 新 敏 剛
 橋 井 林 原 崎 本 辺 野 平 野 井 庄 永 井 川 藤 松 原 野
 高 石 小 福 岩 岩 渡 平 野 平 野 永 井 庄 永 井 川 藤 松 原 野
 長 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員
 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員
 委 副 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委 委
 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員

本市の数馬と鶴岡にまたがる地域、浅間山砂利採取跡地では関東最大級のメガソーラー設置工事が行われています。

工区は北エリアと南エリアに分かれており、現在南エリアでは本年7月からの発電に向け、約16万4千枚（合計出力約27メガワット）のソーラーパネル設置工事が全体の約30%まで進んでいます。

また北エリアでは、約16万枚（合計出力約30メガワット）のソーラーパネル設置工事に向け、現在詳細設計をしている段階ですが、工期は本年4月から12月までを予定しています。

このように本年末には関東最大級のメガソーラーが完成予定で、壮観な景色をご覧いただくことができます。今後はこのプロジェクトを地域の発展と活性化にいか

結び付けるかが課題です。

さらにこの辺りに予定していた（仮称）浅間山バスタップの計画案も、国土交通省に正式承認され事業が進むことになりました。

これは平成24年4月に、木更津南ジャンクションから富津竹岡インターチェンジまでの4車線化の許可がなされたことに関連します。

これにより、関東最大級のメガソーラーと館山道の富津竹岡インターチェンジまでの4車線化、そして（仮称）浅間山バスタップを生かした、本市のさらなる交流人口の増加策が求められます。



浅間山砂利採取跡地における現地視察の様子



新春2日に富津漁港で船神様に豊漁と安全を祈願する恒例神事の「船祝」が行われました。オヒネリも投げられ、大勢の人でにぎわいました。



1月12日に消防防災センター訓練場で「平成26年富津市消防出初式」が行われました。好天の下、職団員500人が参加して操法訓練等を実施。防災への誓いを強固にしました。



1月19日に佐貫コミュニティセンターを会場に市内外在住の外国人をはじめとする多くの参加者を集め、「第20回ふれあいTownニューイヤーフェスタ」が開催されました。



1月11日に富津市役所1階ロビーで「平成26年富津市新春賀詞交歓会」を開催。総勢400人が参加し、昨年にも増して盛会に行われました。



新成人を祝福するような好天に恵まれた1月12日に富津公民館で「平成26年富津市成人式」が行われ、新成人となった492人のうち389人が式典に参加されました。



1月25日に富津公民館で「第33回富津市社会福祉大会」が開催。防災士の資格を持つ防災キャスター阿部清人氏の講演と科学実験が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

【編集後記】
 昨秋は東京オリンピック・パラリンピック開催決定に湧きました。国内初のオリンピックは、我が国日本が奇跡の復興を成し遂げた高度経済成長の真つ只中で行われ、多くの国民に夢と希望を与えました。この度の開催決定は、長引くデフレのもと、アベノミクスの効果によりようやく明るいましが見え始めてきた折の吉報であります。千葉県は成田空港を擁し、東京湾を挟んだ対岸には羽田空港もあるもので、本市にとってもその魅力の世界に発信する絶好のチャンスです。この開催決定を契機に、本市でもするスポーツ・みるスポーツ・スポーツイベントの開催を盛んにするための施策を打たねばなりません。
 (平野英男)

ぜひ、議会傍聴に!
3月定例会日程

2月24日(月)	10時	市長の施政方針 議案の上程	開会
3月6日(水)	10時	議案質疑	
3月7日(金)	9時30分	一般質問	
3月10日(月)	9時	予備日	
3月11日(火)	10時	常任委員会	
3月12日(水)	10時	常任委員会	
3月13日(木)	10時	常任委員会	
3月17日(月)	10時	予算審査特別委員会	
3月18日(火)	10時	予算審査特別委員会	
3月19日(水)	10時	予備日	
3月25日(火)	10時	委員長報告 議案審議	閉会

3月の議場コンサートは、6日の午前9時からを予定しております。出演は環小学校の児童の皆さんです。
 ※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80・1331)へお問い合わせください。